

「県政タウンミーティング」

# 長野県内の商店街の現況

平成23年10月13日（木）  
県佐久勤労者福祉センター

# 1 「商店街」とは？

- ・ 買い物の場所
- ・ コミュニティのよりどころ
- ・ 賑わいの中心
- ・ 地域の情報発信の場 など

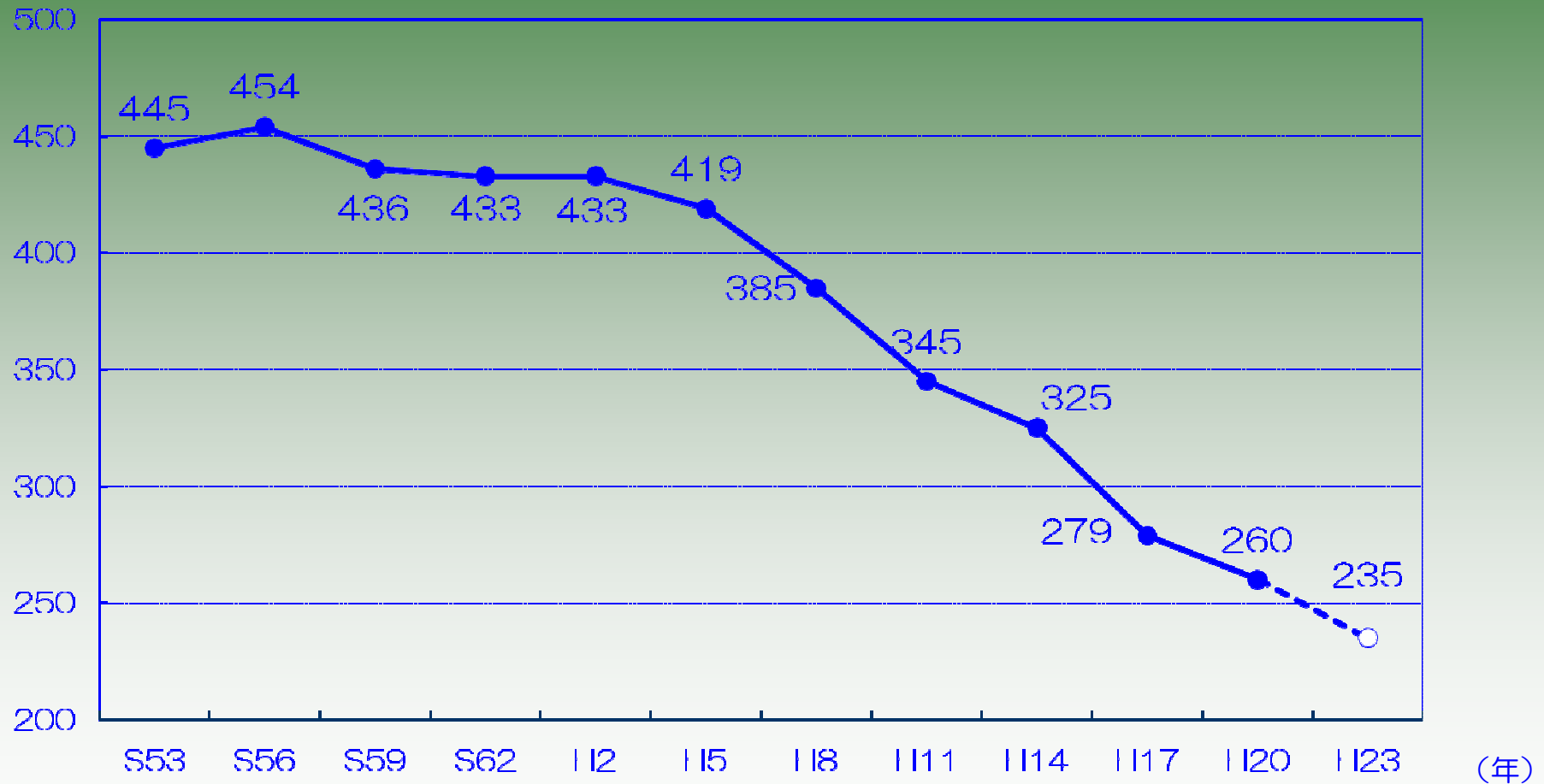
## ◎ 県商店街実態調査では

- ① 10店舗以上の会員により組織され、かつ
- ② 共同事業を実施している 商店街 としている。

## 2 商店街の現況①（商店街数の推移）

～ 昭和56年をピークに減少し、平成23年はピーク時の約50% ～

(カ所)

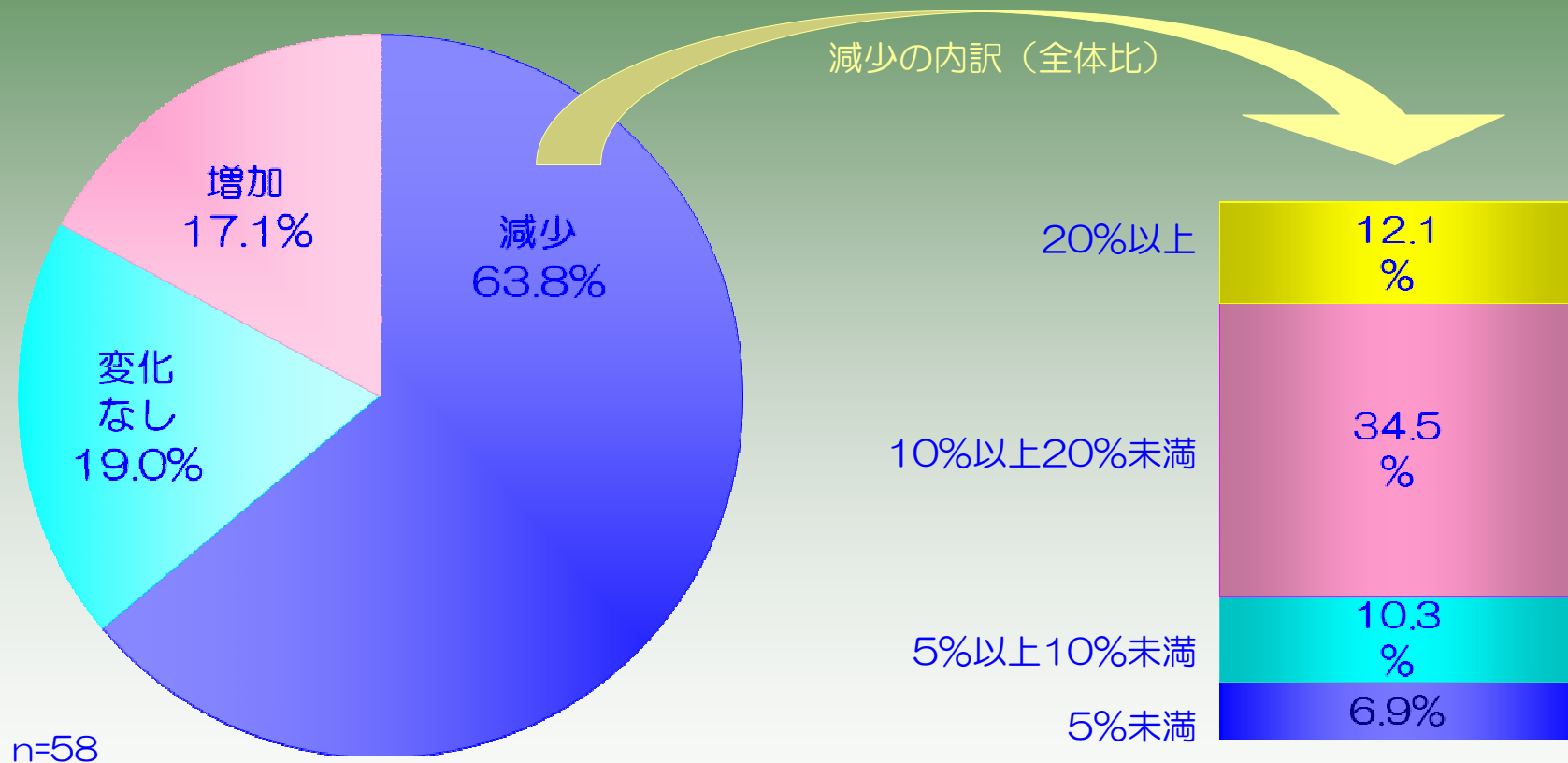


【資料】平成23年商店街実態調査【中間集計】（県商工労働部）

## 2 商店街の現況②（店舗数の変動）

～ 6割以上の商店街で店舗数が減少 ～

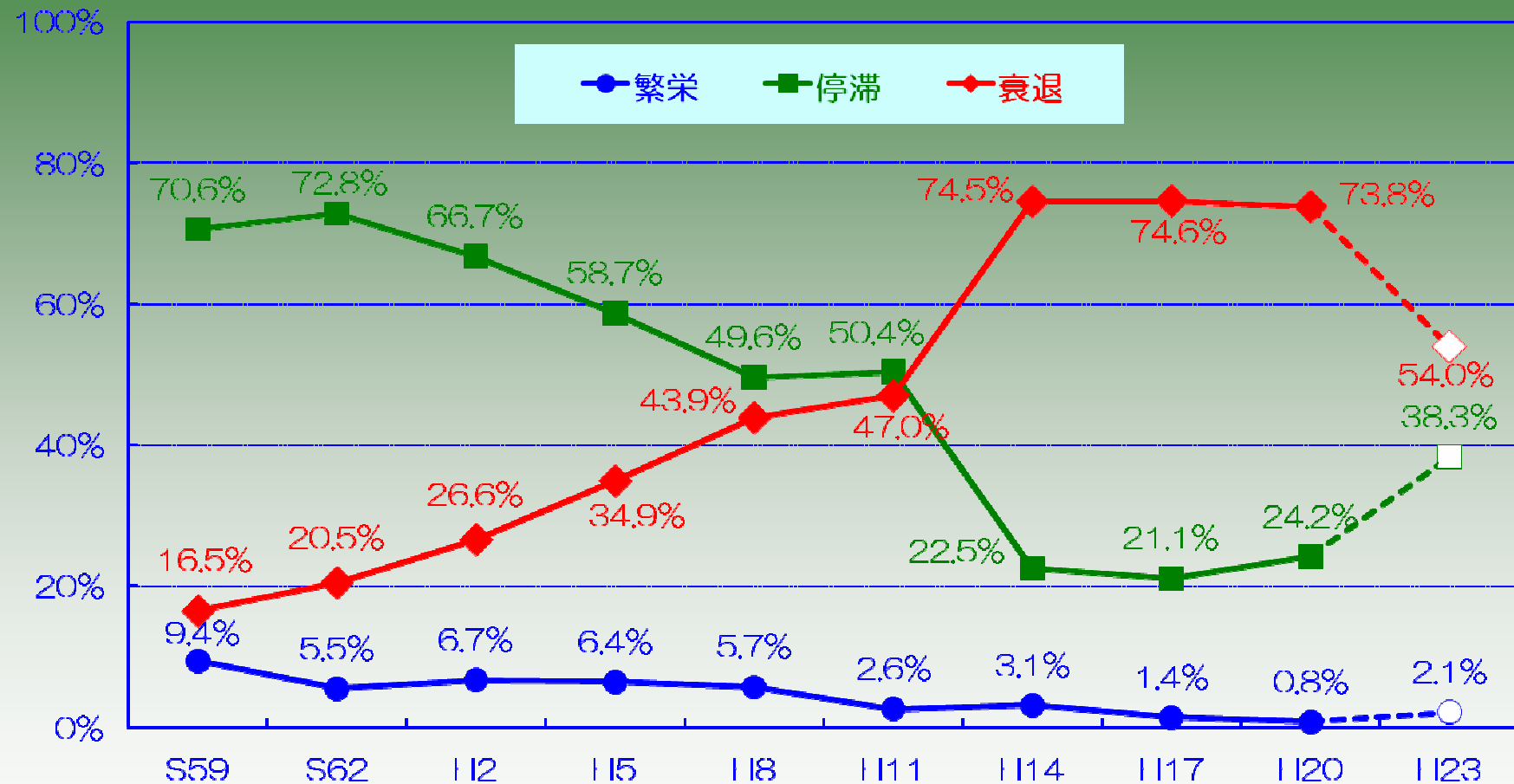
【平成20年と平成23年の店舗数の変動と減少の内訳】



【資料】平成23年商店街実態調査【中間集計】（県商工労働部）

## 2 商店街の現況③（景況感の推移）

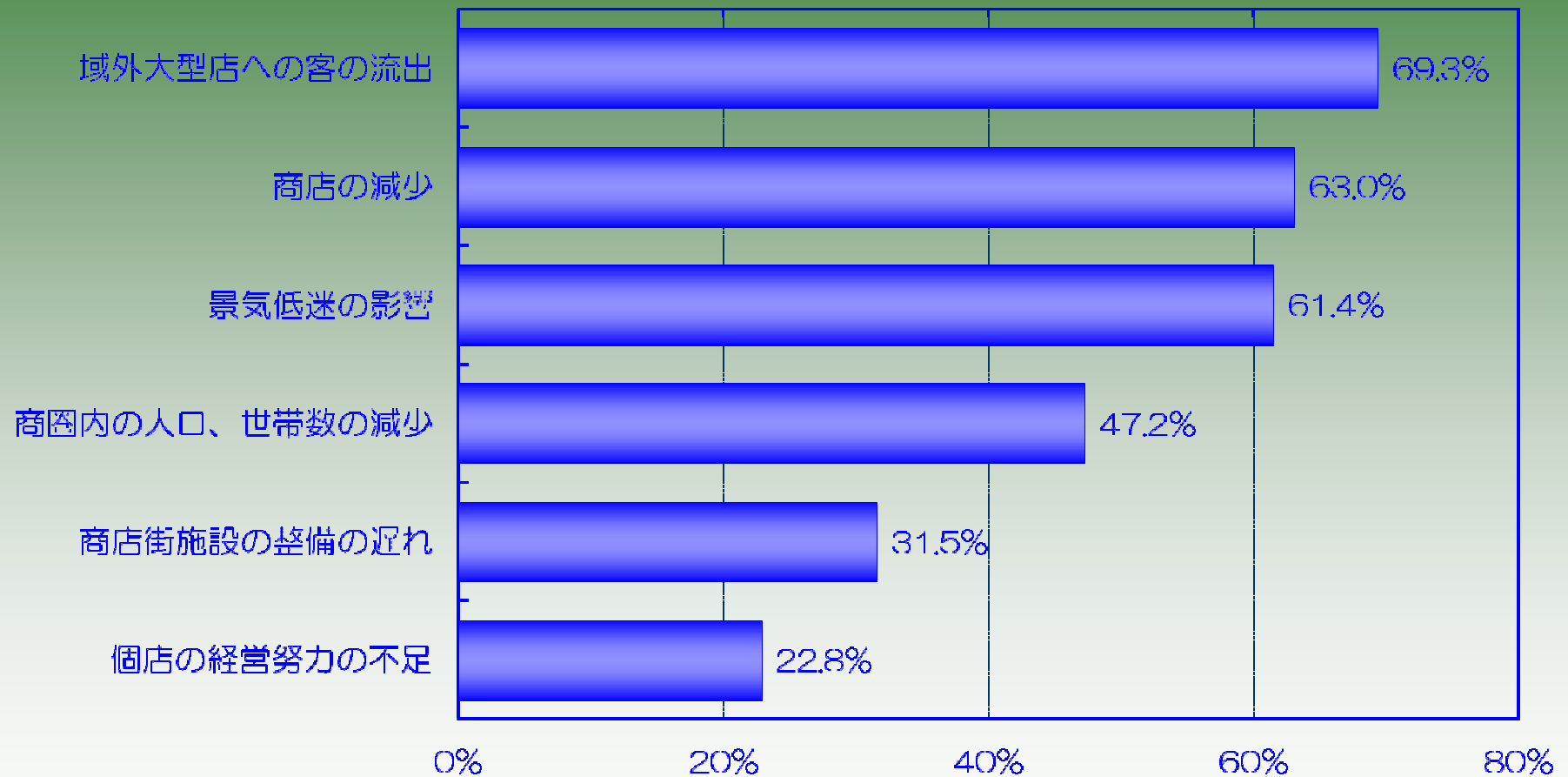
～ 平成14年以降は「衰退」が「停滞」を上回る ～



【資料】平成23年商店街実態調査【中間集計】（県商工労働部）

## 2 商店街の現況④（衰退の原因）

～ 「域外大型店への客の流出」や「商店の減少」が衰退原因 ～

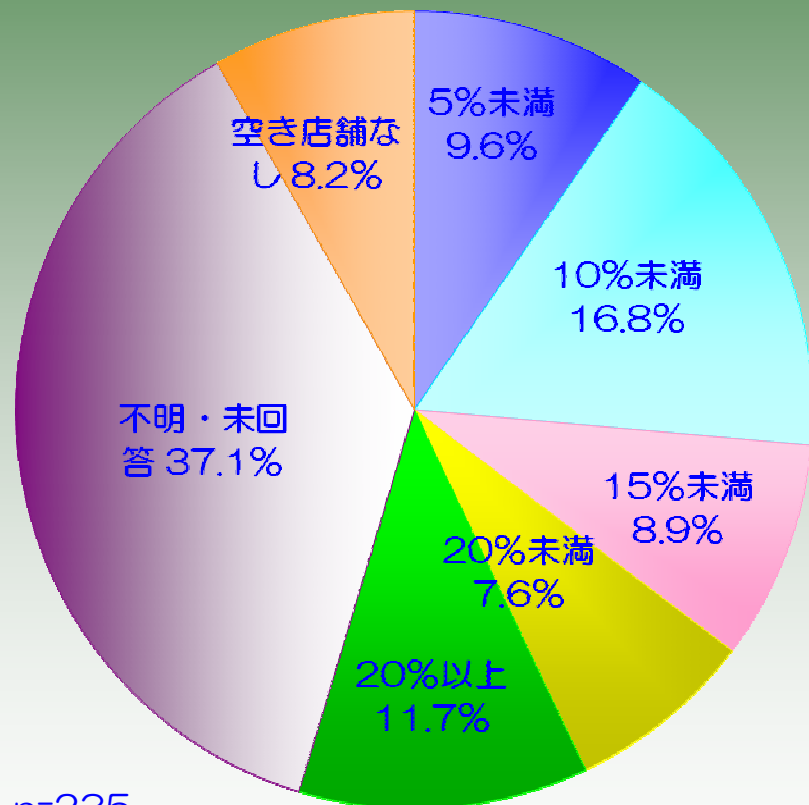


【資料】平成23年商店街実態調査【中間集計】（県商工労働部）

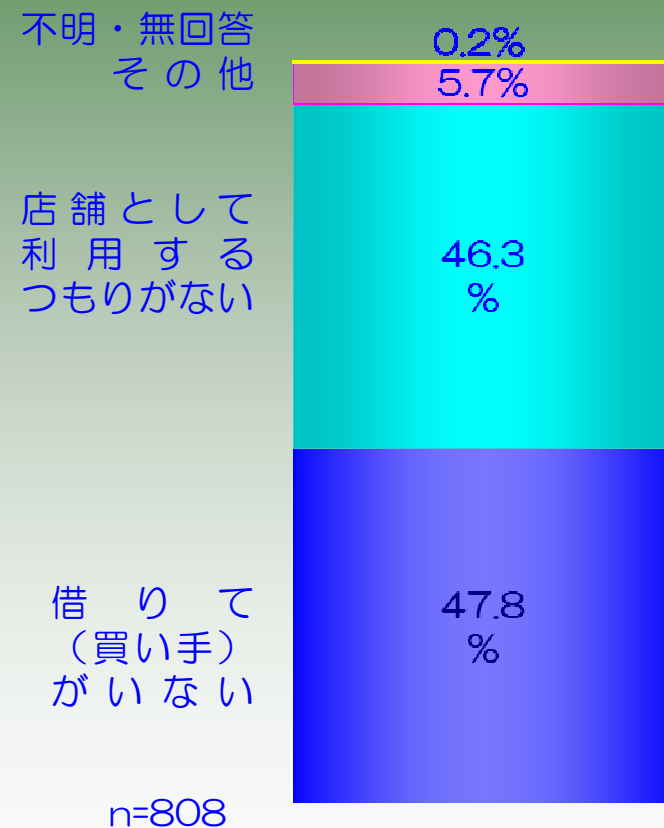
### 3 空き店舗の現況①（空き店舗率）

～ 少なくとも半数の商店街に空き店舗があり、  
その約半数は店舗として活用される予定がない ～

【商店街ごとの空き店舗率】

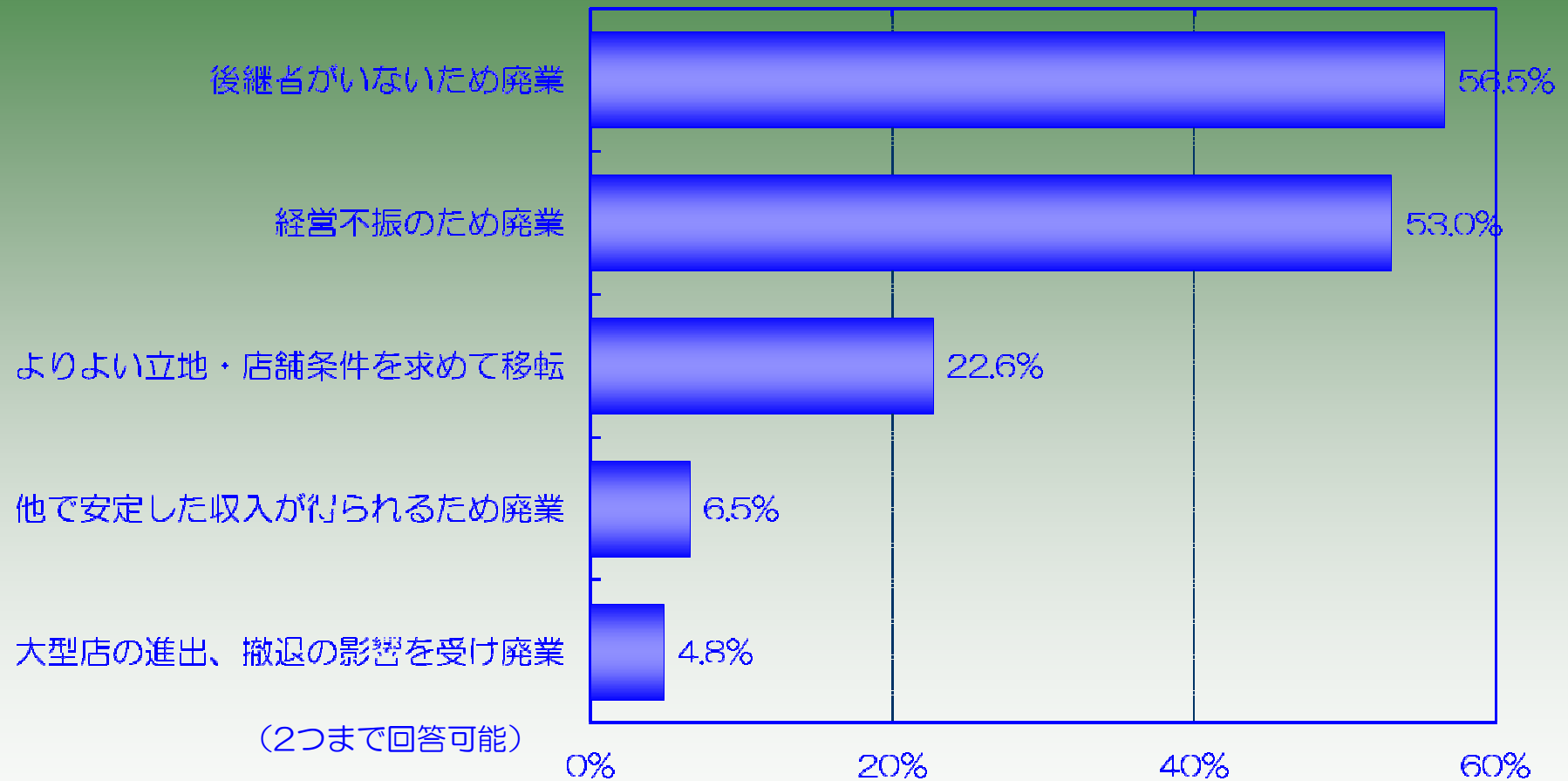


【空き店舗の状態】



### 3 空き店舗の現況②（空き店舗となった理由）

～ 「後継者不足」や「経営不振」が空き店舗の理由 ～

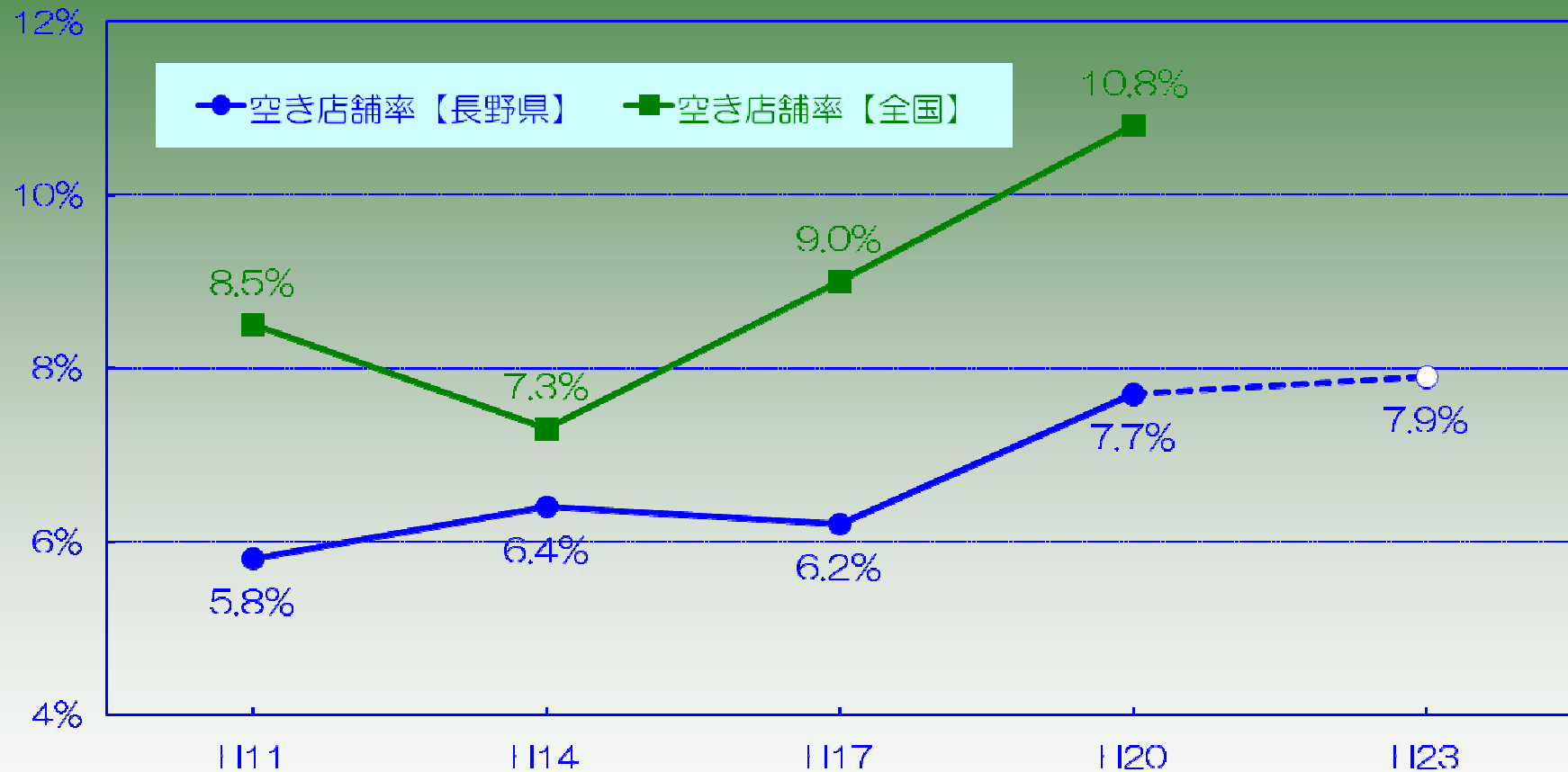


【資料】平成23年商店街実態調査【中間集計】（県商工労働部）



### 3 空き店舗の現況③（県・全国の空き店舗率）

～ 県内の空き店舗率は上昇傾向にあるものの、全国に比べ低い水準 ～



【資料】 県：商店街実態調査（県商工労働部／H23は【中間集計】）

国：全国商店街実態調査（経済産業省／調査年度：H12、H15、H18、H21）

## 4 大規模小売店舗の現況①（規制緩和）

～ 商業調整から環境調整へ ～

### ◎ 昭和49年3月

大規模小売店舗における小売業の事業活動の調整に関する法律（大店法） 施行

【目的】 大型店の出店に伴う地元中小小売業者への影響を調整（商業調整）

### ◎ 平成4年1月

商業活動調整協議会（商調協） 廃止、出店手続きの簡素化

### ◎ 平成6年5月

1,000㎡以下の大型店の出店の原則自由化

### ◎ 平成12年5月末

大店法 廃止

### ◎ 平成12年6月

大規模小売店舗立地法（大店立地法） 施行

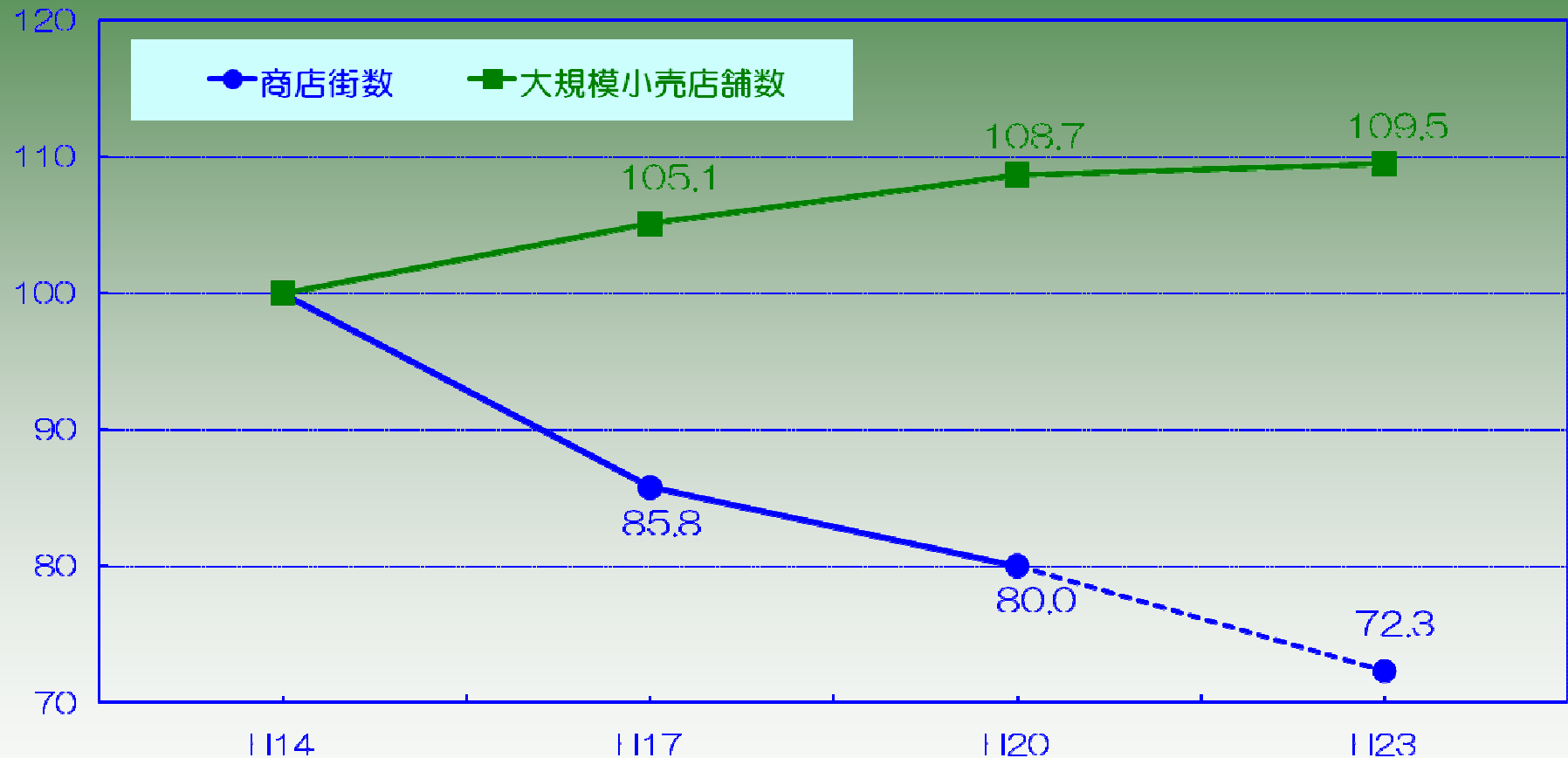
【目的】 大型店周辺の生活環境保持のための交通・騒音等を調整（環境調整）

（「まちづくり三法」による中心市街地の整備改善・商業活性化）

## 4 大規模小売店舗の現況②（出店状況）

～ 大規模小売店舗の出店は増加傾向も鈍化 ～

（H14を100とした指数）



【資料】 商店街数：商店街実態調査（県商工労働部／H23は【中間集計】）  
大規模小売店舗数：大店立地法等に基づく出店数累計（県商工労働部）

## 5 高齢買物弱者支援モデル事業

～ 高齢買物弱者は、県内に「約5万2千人～8万人」と推計 ～

### 1 現状（生活必需品買物環境実態調査：県商工労働部、平成23年3月）

#### ◎ 定義

「買物に不便を感じている」65歳以上の方、かつ

- ① 商店が近く（500m以内）にない
- ② 徒歩・自転車で買物に行けない
- ③ 自動車を運転できない（しない） 方

◎ 中心地域の約1割、中山間地域の約2割が高齢買物弱者



### 2 支援モデル事業

高齢者を「お客様」とする、新たなビジネスモデル創出の実証

#### ■ モデル地区：3ヶ所 ■

- 1 岩村田本町商店街振興組合（佐久市）  
*スーパーと連携した店舗運営と宅配サービス 等*
- 2 阿南ショッピングセンター協業組合（阿南町）  
*店舗利用者の送迎サービスと交流スペースの提供*
- 3 ㈱今井恵みの里（松本市）  
*農産物等を販売する「移動市」を市街地に開設*

#### モデル事業支援委員会

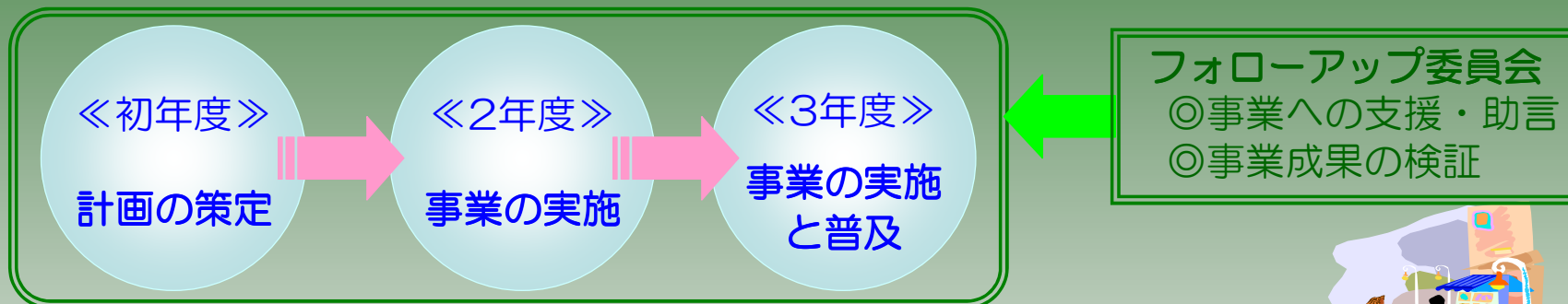
- ◎事業への支援・助言
- ◎事業成果の検証

## 6 中心市街地再生支援モデル事業

～ 地域コミュニティのよりどころとしての中心市街地の再生 ～

### 1 スキーム

中心市街地再生を目指す「まちづくりグループ」を市町村を通じて支援



### 2 先進的事例

市町村	期間	事例
大町市	H20～22	駅前からはじまる賑わいのあるまちづくり 駅前まち歩き拠点整備、軽トラ・荷ぐるま市の開催
千曲市	H21～23	人が集まるふれあいと創造のまち イベント広場整備、年金市・お月見会の開催
上田市	H22～24	「地域の絆」再生による中心市街地とコミュニティの復活 宅配等お買物補助の実施、葬祭等の請負



千曲市 年金市

大町市 軽トラ・荷ぐるま市

